

平成30年度 第2回地域スポーツ指導者研修会 評価

担当：井上

1 ねらい	ジュニアスポーツ指導者や小中学校の教師、保護者等に対して、運動やスポーツに取り組む子どもたちの走る能力を伸ばすトレーニング方法を理解させ、技能を高めさせることにより、指導力の向上を図る。
2 対象者	地域スポーツ関係者（指導者・保護者等）、小中学校の教職員、各市町生涯スポーツ担当者、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ関係者 等
3 期 日	平成30年10月22日（月）
4 場 所	八女市総合体育館 球技場
5 内 容	<p>【講話・実技】</p> <p>「だれでも走るのが速くなるトレーニング方法 ～指導のコツをピンポイントで教えます～」</p> <p>Winning Wave アスリート育成スクール 代表 坂本 修一 氏</p>

6 評 価

(1) アンケートから (参加者85名(選手・子どもを含む)、アンケート回収62名)

		4	3	2	1	評価
総合評価	本日の研修会を総合的に評価してください。	55	7	0	0	3.9

講話・実技について

- 自己流の走り方で長年やってきて目からうろこでした。練習はただやみくもにやるのではなく、効率的にあきないように短く、繰り返すことが大切だということが改めてわかりました。
- 「正しく教える、子どもたちが主体となるよう導く」そのために指導者が学び続けることが大切だと思いました。実践しながらこのような言葉かけをすればいいなど具体的に教えていただき、大変わかりやすかったです。ありがとうございました。
- 悪いコーチは感情に流されていて、具体的に教えていないのかなと思いました。今日教えていただいた声かけ、身振り、補助の仕方がとても分かりやすかったので、早速まねをして実践に生かし、子どもたちのために役立てていきたいと思えます。楽しく学べました。ありがとうございました。
- 指導者（コーチ）としての在り方を再確認しました。今後も常に新しい、そして正しい知識・方法を学び続け、よい見本・手本となれるよう努力します。
- 正しい指導をすることで、競技力を高めるだけではなく、ケガ等も防げると思いました。
- 指導者主体とならないように、むだに子どもを怒らないようにできればと改めて思いました。
- 説明もわかりやすく、実技がたっぷりでよかったです。
- 1つ1つ手順をふんで教えていただいたので大変わかりやすかったです。
- 身体の使い方、楽しく身体を動かす方法を学ぶことができました。
- 家でもできるトレーニングだったので、時間があるときに子どもと一緒にやりたい。
- コーチの在り方の面から、うちのクラブの指導者に参加してほしかったです。
- 講師の指導に動きがあるので、ピンマイクがあるとわかりやすかった。  
※準備をしていたが、音量が小さい（声を拾いにくい）ため、講師がワイヤレスマイクを選択した。
- トレーニング指導例が多様だったので、詳細が少しわかりにくかった。
- 自分の年齢が高いので、少しきつかった。

(2) 成果と課題

- 「これまで自分が受けてきた指導法を元にして指導している指導者に対して、医学的・科学的に証明された指導法を教えてほしい」という主催者側の願いを講師に伝え、講話内容を事前に両者で確認をした。そのため、参加者に、最新の指導法を学ぶことの大切さを理解させることができた。

○暴力、ハラスメント等に頼った指導法ではなく、「子どもたちが運動を楽しみながら技能や体力を高める指導法」の重要性を参加者に理解させることができた。

●少し激しい運動が入った実技指導であったため、年齢が高い人たちにはきつい研修会になってしまった。

